被爆68年 桜隊原爆忌 原爆殉難者追悼会

2013年 8月 6日(火)

午前10：30～ 碑前祭　12：00～ 追悼会

移動演劇「桜隊」を知っていますか?

丸山定夫

1945年8月6日、移動演劇桜隊は広島で被爆しました。
爆心地から750mの地点。5人は即死。
4人は放射能によって、もがき苦しみながら亡くなりました。
なぜ、彼らは広島にいたのでしょうか?
…… 知ることから始まります。

園井恵子

島木つや子

高山象三

笠 絢子

小室喜代

羽原京子

森下彰子

仲みどり

1941年6月9日、内閣情報局により「日本移動演劇連盟」が結成された。そして半年後の12月8日、日本は真珠湾攻撃を決行し、太平洋戦争へと突入した。
すべての演劇人は大政翼賛会の管理下におかれ、表現の自由は完全に奪われた。そんな中、1942年、劇団「苦楽座」が創立。地方への慰問巡演活動が始まった。演劇人としての"矜持"を失うことなく活動を続けた彼らの原動力はどこにあったのか。当時の体制と社会情勢、演劇環境をひもとき、現代の視点から移動演劇を考える。

追悼会の主な内容

◎お話◎

「築地小劇場」の誕生から焼失までの足跡を振り返る映像

『築地小劇場―震災から戦災への軌跡』を制作して　**野口孝一**(東京都中央区教育委員会)

築地小劇場は、日本初の新劇上演のための劇場であり、劇団名でもあった。1923(大正12)年にドイツから帰国した土方与志と小山内薫が中心となって同人組織を作り、劇場の建設と新しい演劇運動を始めた。演劇の実験室であることを掲げ、1929(昭和4)年3月まで膨大な舞台作品を上演し続けた。
劇場は、1924(大正13)年6月13日に開場、建坪80坪、舞台間口6間、定員500名、クッペルホリゾントや舞台手前の天井部分に電気室を備えていた。1930(昭和5)年の劇団解散後、1940(昭和15)年に「国民新劇場」へと改称、1945(昭和20)年3月10日に東京大空襲で焼失した。

◎朗読構成◎

「桜隊前夜」　構成・演出／桜隊原爆忌の会事務局

《君は何故芝居をするのか!?　移動演劇参加前夜の苦悶》

園井恵子　今、ここで芝居をやめてしまったら戦争に負けてしまうみたいでしょう。
三好十郎　お前たちのやっていることは、道楽だ。映画で生計を立て、その隙間に芝居？　茶番も休み休み言いたまえ。
丸山定夫　道楽だと言われてもいい。食えなければ演目に曇りが生まれ、よい仕事を永続的にやることができないのだ。
三好十郎　馬鹿を言うな！　道楽であっていいわけがない。

出演／**青木和宣**(文化座)　**落合佑介**(NLT)
神山　寛(俳優座)　**鳥畑洋人**(昴)
堀江真理子(マーリエ企画)

会　場：目黒 五百羅漢寺
☎03－3792－6751

参加費：3,000円(献花料・記念写真・昼食代含)
高校生以下1,000円

※お問い合わせ・お申し込みは、桜隊原爆忌の会世話人事務局まで（裏面参照）　☎03-3667-1890　FAX03-3667-1891